

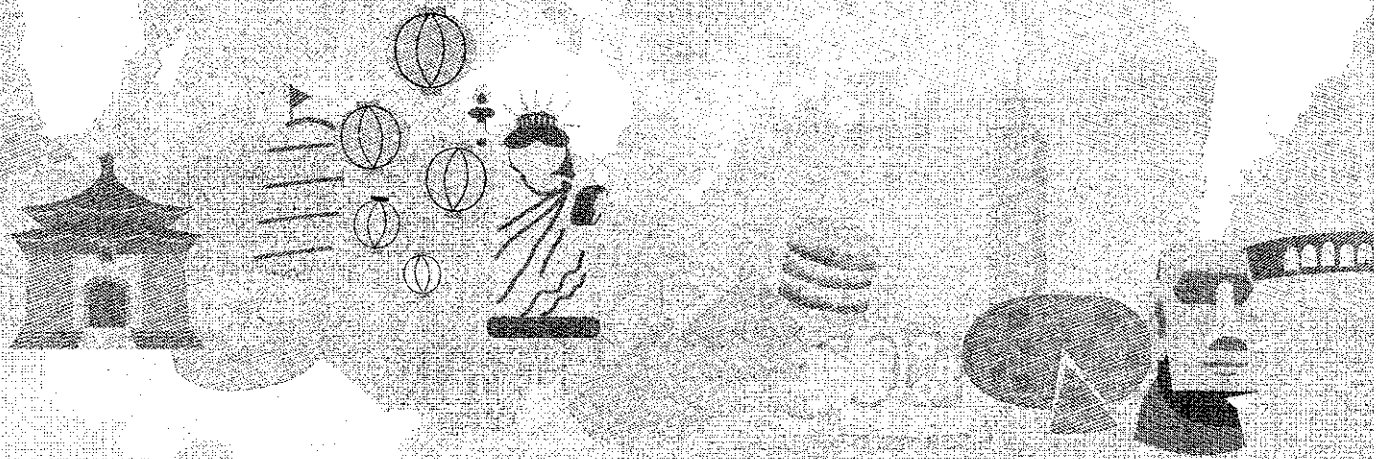
2019年度

事業報告書

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

公益財団法人 佐賀県国際交流協会

Saga
Prefecture
International
Relations
Association



佐賀県国際交流協会年報

2019年度事業



公益財団法人 佐賀県国際交流協会

CONTENTS

- 02 協会概要
- 03 役員名簿
- 04 事業年表
- 05 事業実績

A コミュニケーション支援

- 05 国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）
- 05 情報収集・提供
- 05 日本語教室支援
- 06 日本語教師養成講座助成
- 06 第4回 外国人による日本語スピーチコンテスト
- 06 「やさしい日本語」講座

07 B 生活支援

- 07 在住外国人生活支援
 - 生活相談、専門家相談
 - 健康相談
 - 医療通訳
- 08 子ども日本語学習サポーター等派遣
- 09 防災セミナー

10 C 多文化共生の地域づくり

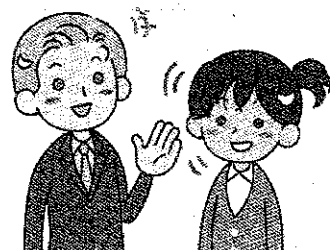
- 10 国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）
- 10 地球発見隊出前講座
- 11 ボランティア啓発・推進
- 12 多文化共生等助成事業
- 13 さが国際フェスタ
- 14 多文化共生情報発信事業

14 その他の協会事業

- 14 インターンシップの受入
- 15 さが多文化共生センター

16 賛助会員

- 16 賛助会員募集



公益財団法人 佐賀県国際交流協会の概要



**Saga
Prefecture
International
Relations
Association**

SPIRAのシンボルマーク「手をつなぎ、楽しくコミュニケーションする人と人。緑は佐賀平野、赤はお互いの熱意、青は世界に広がる海のイメージです。」

公益財団法人佐賀県国際交流協会は、世界に開かれた佐賀づくりをめざして、県、市町村、民間企業、県民の方々の協力により、県民総参加の国際交流を推進するための中核組織として1990年（平成2年）2月7日に設立され、2013年（平成25年）4月1日に公益財団法人となりました。

2020年（令和2年）1月1日時点で佐賀県には7,208人の外国人が生活しており、2016年（平成28年）には全国1位の増加率を記録するなど、ここ数年で大きく増加しています。

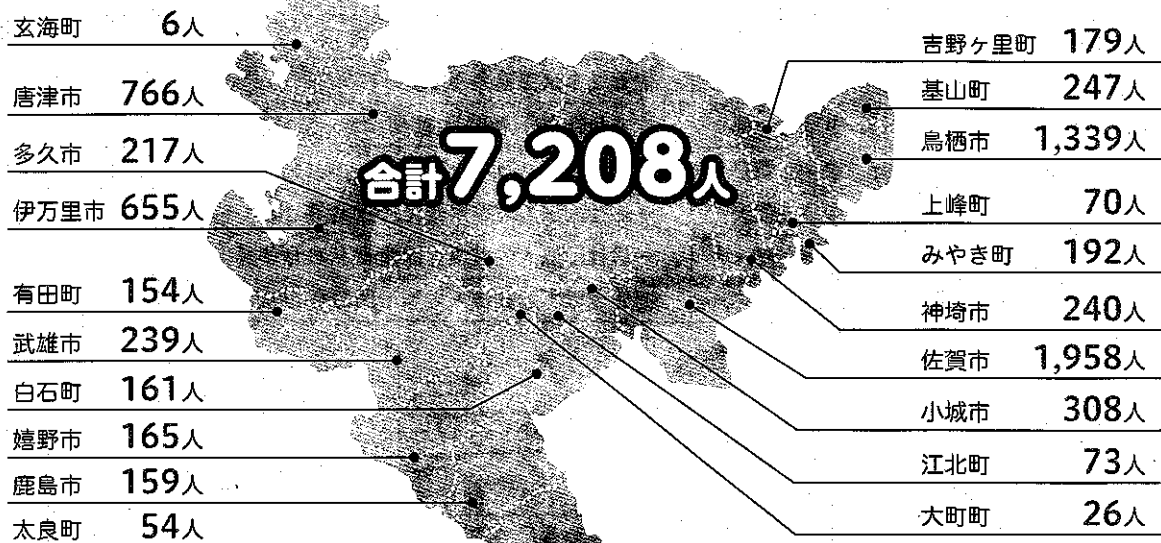
このような中で、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく、いわゆる「多文化共生」の地域づくりが求められています。

また近年、全国的に自然災害が多発する中、地域の自助力、地域住民の連携が見直されています。佐賀県が国籍を問わず万人にとって安全で住みよい場所となるよう、当協会も多文化共生の地域づくりに全力をあげてまいります。様々なセミナーやイベント等を通し、在住外国人と県民が同じ地域構成員として、協働・協力体制を築いていけるよう、取り組んでいきたいと思っています。

これからも民間団体等と連携・協働し、日本語教室や医療通訳サポーターの派遣など、多文化共生事業を一層進めていきたいと考えていますので、皆様の温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

佐賀県内外国人住民の数（市町別）

※2020年1月1日現在佐賀県国際課調べ



役員名簿

2020年4月1日現在

評議員 [12名]

役職名	氏名	団体名・職名
評議員	寺本 憲功	国立大学法人佐賀大学 国際交流推進センター長
評議員	峰 英太郎	佐賀県商工会連合会 会長
評議員	江島 秋人	佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
評議員	古賀 孝博	佐賀県農業協同組合中央会 専務理事
評議員	中島 博文	一般社団法人佐賀県建設業協会 専務理事
評議員	青柳 直	一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 理事長
評議員	高島 忠平	公益財団法人佐賀県芸術文化協会 理事長
評議員	三苫紀美子	佐賀県地域婦人連絡協議会 会長
評議員	白濱百合子	佐賀生活文化交流会 代表
評議員	西岡 豊	佐賀県高等学校PTA連合会 会長
評議員	前島 梅子	日本語ネットワーク佐賀 代表
評議員	松村美由紀	佐賀県地域交流部国際課 課長

理事 [13名]

役職名	氏名	団体名・職名
理事長	黒岩 春地	佐賀県国際交流協会 事務局長兼務
副理事長	南里 隆	佐賀県地域交流部 部長
副理事長	横尾 俊彦	佐賀県市長会 理事
副理事長	伊東 健吾	佐賀県町村会 理事
副理事長	古園 裕久	佐賀県商工会議所連合会 専務理事
理事	青木 勝彦	佐賀県教育庁 副教育長
理事	川崎 和正	佐賀玄海漁業協同組合 組合長
理事	江打 正敏	佐賀ユネスコ協会 会長
理事	中尾清一郎	株式会社 佐賀新聞社 社長
理事	泉 俊彦	株式会社 サガテレビ 会長
理事	中島 章夫	一般社団法人佐賀県観光連盟 専務理事
理事	森 孝一	一般社団法人佐賀県貿易協会 代表理事
理事	大野 博之	特定非営利活動法人地球市民の会 副理事長

監事 [2名]

役職名	氏名	団体名・職名
監事	江副 元喜	佐賀県市長会 事務局長
監事	宮崎 珠樹	佐賀県商工会連合会 専務理事

事業年表

2019 4.23~2.25	ランチタイム English Seminars (全6回)	
6.4	(公財)佐賀県国際交流協会2019年度 第1回理事会	
6.26	(公財)佐賀県国際交流協会2019年度 第1回評議員会	
6.28	「やさしい日本語」講座 (武雄市役所 1回目)	
7.3	「やさしい日本語」講座 (武雄市役所 2回目)	
7.13	第1回「外国人とともに取り組む!災害対応ガイドブック作成会議」(佐賀市)	
7.20	外国人のための体験型防災セミナー	
8.3	在住外国人のための無料健康相談会 第1回	
8.5	「やさしい日本語」講座 (白石町 民生委員、児童委員)	
8.24	子ども日本語学習サポーター養成講座 (第1回)	
9.12	子ども日本語学習サポーター養成講座 (第2回)	
9.21~12.5	医療通訳サポーター養成講座 初心者コース英語・中国語 (全9回)	
10.1~10.31	2019さが国際フェスタ月間	
10.6	さが国際フェスタメインイベント in 伊万里	
10.16	子ども日本語学習サポーター養成講座 (第3回)	
10.18	第2回「外国人とともに取り組む!災害対応ガイドブック作成会議」(伊万里)	
10.19	ハロウィンであそまなぶ	
10.20	在住外国人のための無料健康相談会 第2回	
10.27	第4回 外国人による日本語スピーチコンテスト	
10.29	「やさしい日本語」講座 (小城市役所)	
10.30	さが多文化共生センター スタート	
11.9	多文化防災セミナー	
11.10	日本語ボランティア研修会	
11.21	第3回「外国人とともに取り組む!災害対応ガイドブック作成会議」(武雄)	
12.8	在住外国人のための無料健康相談会 第3回	
12.8	第4回「外国人とともに取り組む!災害対応ガイドブック作成会議」(嬉野)	
2020 2.16	第5回「外国人とともに取り組む!災害対応ガイドブック作成会議」(唐津)	
3.31	(公財)佐賀県国際交流協会2019年度 理事会 (書面決議)	

A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行(外国人向け)



佐賀での生活に役立つ情報や、県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、情報の提供を行いました。

全カラー2ページ2,500部 年2回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体、教会、エスニック料理店等



情報収集・提供

インターネット・メールやホームページ等で情報提供を行いました。イベント情報などの更新を随時行い、常に新しい情報を提供できるように整え、必要に応じて佐賀県発信の情報を多言語で配信しました。

また、Facebookを活用し、さまざまな多文化共生に関する情報や外国人住民に有益な情報を素早く届けることができました。



日本語教室支援



外国人住民のコミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活者支援を目的として、地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援しました。

市町	グループ名	活動場所/時間
佐賀市	にほんごすいもく(水ようび)	国際交流プラザ/水曜日 10:00~12:00
	にほんごすいもく(木ようび)	国際交流プラザ/木曜日 10:00~12:00
	どようび日本語 in SAGA	国際交流プラザ/第2、4土曜日 10:00~12:00
小城市	おぎ日本語教室	ゆめぶらっと小城/火曜日 19:00~20:00、土曜日 10:00~11:00
多久市	多久日本語教室	南多久公民館/土曜日 10:00~12:00
唐津市	唐津日本語教室	唐津市都市コミュニティセンター他/ 日時は学習者と相談のうえ決定
	にほんご晴	大手口センタービル/月曜日 19:00~20:00
伊万里市	日本語教室いまり	生涯学習センター2F/日曜日 14:00~16:00
白石町	しろいしWa!Wa!Wa!	元気のためご/火曜日 19:00~21:00、第3日曜日 13:00~15:00

(2019年度実績 9団体)

日本語教師養成講座助成



外国人住民の受入基盤整備の一環として、日本語教師養成講座受講費用の一部を助成しています。今年度は6名の方に助成金を交付しました。

また、当助成金受給者も含め広く県民を対象に日本語ボランティア研修会を実施しました。

日本語ボランティア研修会



- 開催日時 2019年11月10日 14:00~17:00
- 開催場所 佐賀県庁 地下1F SAGA CHIKA
- 主催 千葉市国際交流協会 日本語教育コーディネーター 萬浪 絵理氏
- 参加人数 26名



第4回 外国人による日本語スピーチコンテスト



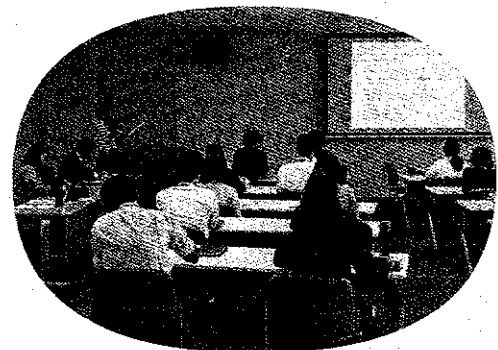
佐賀市、佐賀市国際交流協会との共催により開催。青少年部門6名、成人部門12名、計18名の日本語学習者が日頃の成果を発表する貴重な機会であると同時に、佐賀県民と外国人住民の相互理解・交流が促進され、双方に新たな視点を与える機会となりました。



「やさしい日本語」講座

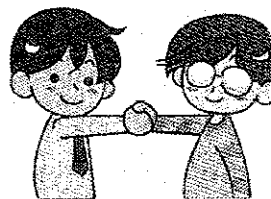


外国人とのコミュニケーションに有効なツールの一つ、やさしい日本語。協会ではその「やさしい日本語」の普及・啓発に努めるために、SPIRA職員による「やさしい日本語講座」を出前講座形式で開催しました。今年は行政からの依頼で、3市町、計4回を職員や民生委員向けに開催。職員向けには初めての開催で、実際に窓口対応をする行政の職員のほか、民生委員の方々にもやさしい日本語の存在と、その有効性を知ってもらうことができました。



B 生活支援

在住外国人生活支援



生活相談、専門家相談

2019年度生活相談、専門家相談は2019年10月30日より「さが多文化共生センター」に引き継ぎました。詳しくはP.15をご覧ください。

健康相談

済生会唐津病院の協力を得て、健康面や医療制度・手続きに関する外国人住民の相談会を開催しました。2019年度はイベント等に合わせて相談会を年に3回実施しました。

1回目

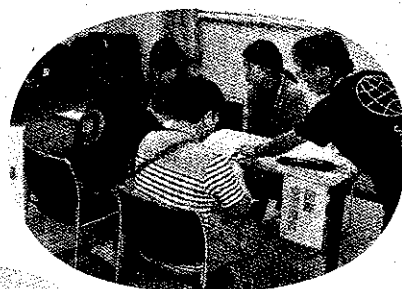
- 開催日時 8月3日(土)10:00~12:00
- 参加人数 11名
- 開催場所 佐賀市 (※豪雨のため7/21(日)から延期)

2回目

- 開催日時 10月20日(日)10:00~12:00
- 参加人数 5名
- 開催場所 唐津市

3回目

- 開催日時 12月8日(日)10:00~12:00
- 参加人数 5名
- 開催場所 佐賀市



医療通訳

外国人住民の医療面に関する支援として、「医療通訳サポーター」を保健・医療機関等(8箇所)へ延べ72件(うち英語62件、中国語10件)派遣しました。また、医療機関に働きかけて、多言語コールセンターの案内とともに、医療通訳サポーター派遣の一層の利用を促しました。

医療通訳サポーター養成講座初心者コース

開催期間 2019年9月21日~12月5日(全9回)

- 講師 甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 中村 安秀氏
- 佐賀県医療センター好生館MSW 大西 知里氏、松田 まな美氏
- 全国医療通訳者協会(NAMI)理事、医療通訳研究会(MEDINT)代表、社会福祉士 村松 紀子氏
- 講師 佐賀市保健福祉部健康づくり課 保健師 塚原 里美氏
- 全国医療通訳者協会(NAMI)代表理事 森田 直美氏
- 通訳技術指導講師 英語 河野 弥生氏
- 通訳技術指導講師 中国語 蔣 晶氏

会場 佐賀商工ビル会議室(第1回)・佐賀県国際交流プラザ研修室(第2回~9回)

参加費 公開講座(第1回)32名、養成講座(第2~9回)英語13名、中国語3名

参加者 県内在住外国人

子ども日本語学習サポーター等派遣



県内の小中学校に通う外国につながる児童生徒及びその保護者、学校関係者を対象に、子ども学習支援サポーターを派遣しました。学校からの依頼に応じて、当協会のボランティア登録者からサポーターを選定し、県内の小学校、中学校で日本語指導や通訳としてご活躍いただきました。



活動内容

- ①児童生徒本人に対する日本語指導や学習のサポート（子ども日本語学習サポーター）
- ②児童生徒本人やその保護者と学校間での通訳・母語でのメンタルケア（子ども通訳・メンタルサポーター）

2019年度 派遣実績

子ども日本語学習サポーター	32件（695.5時間）	小学校14校、中学校8校 義務教育学校2校
子ども通訳・メンタルサポーター	24件（43時間）	小学校6校、中学校4校、 義務教育学校2校

子ども日本語学習サポーター養成講座

第1回（公開講座）

日 時 2019年8月24日（土）10：15～12：45

会 場 佐賀市立図書館 2F 大集会室

講 師 久留米大学 日本語講師

ディヌーシャ ランプクピティヤ 氏

参加人数 34名



第2回

日 時 2019年9月12日（木）14：00～16：00

会 場 国際交流プラザ研修室AB

講 師 佐賀県日本語学習支援“カスタネット” 早瀬 郁子 氏

佐賀県教育庁 教育振興課 指導主事 吉原 正 氏

参加人数 23名



第3回

日 時 2019年10月16日（水）14：00～16：00

会 場 佐賀商工ビル4F 会議室AG

講 師 佐賀県日本語学習支援“カスタネット” 早瀬 郁子 氏

<事例発表>

佐賀市立本庄小学校 日本語指導担当教員 西村 常裕 氏
先輩サポーター

辻村 邦子 氏、吉原 千恵美 氏、古川 陽子 氏

参加人数 21名



防災セミナー



外国人住民と日本人住民がお互いの文化や考え方などを理解し、尊重するとともに、安心して快適に暮らすことができる地域社会（多文化共生社会）づくりの推進を目的とした防災セミナーを実施しました。異文化交流を図りながら、参加者（行政職員、日本人学生、留学生、ボランティア等の県民）が自らの交流活動や多文化共生社会づくりに対する気づきを得ることができ、災害時に自分の身を守るために自助の部分も学ぶ機会となりました。

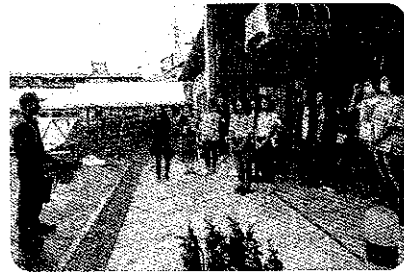
外国人のための体験型防災セミナー

開催日 2019年7月20日

開催場所 佐賀県消防学校

参加者 佐賀県消防学校教官

参加人数 33名



多文化防災セミナー

開催日 2019年11月9日

開催場所 佐賀大学理工学部6号館多目的ルーム

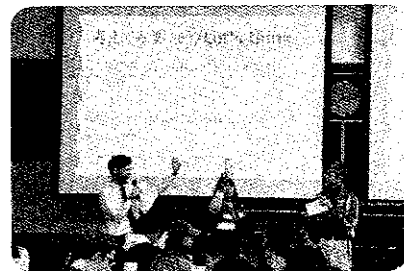
講師 佐賀県消防防災課 一丸 尋史氏

KEEP(留学生団体) ルイス氏・フランシス氏

日本赤十字社 佐藤 洋平氏

参加人数 64名

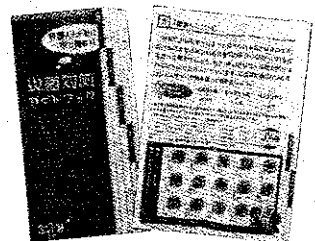
開催機関 佐賀大学



外国人とともに取り組む!! 「災害対応ガイドブック」作成

今年度（一財）自治体国際化協会（CLAIR）の助成を受けて、災害時における外国人対応（配慮）をまとめた日本人向けのガイドブックを作成しました。県内の5つの市から外国人と日本人のメンバーと共に5回の会議と、ミーティングを重ね、災害時に外国人が不安に思うこと、必要な対応等を皆で話し合い作成しました。

次年度は協会職員や作成に関わったメンバーが講師となり各地域に出前形式で講座を行い、外国人とともに取り組む防災の意識を広げていくことを目指します。



	日 時	場 所	参加人数
第1回	2019年7月13日(土)	佐賀市立図書館(佐賀市)	15名(外国人9名、日本人6名)
第2回	2019年10月18日(金)	大坪公民館(伊万里市)	9名(外国人4名、日本人5名)
第3回	2019年11月24日(日)	武雄市役所(武雄市)	11名(外国人5名、日本人6名)
第4回	2019年12月8日(日)	嬉野市文化センター(嬉野市)	10名(外国人6名、日本人4名)
第5回	2020年2月16日(日)	唐津市民文化体育館(唐津市)	10名(外国人5名、日本人5名)



災害多言語支援センター設置・運営訓練

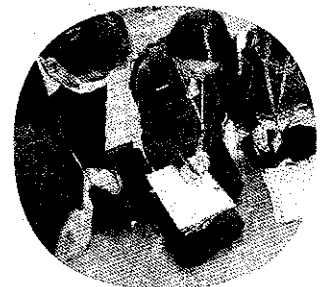
佐賀県と設置協定を締結している「佐賀県災害多言語支援センター」について、佐賀県国際課と合同で訓練を実施しました。

実施にあたっては、全国の被災地で外国人支援活動を実施された専門家のアドバイスを受けながら、県内で災害が発生したことを想定し、その状況における多言語での情報発信や、避難所巡回等の外国人支援活動の訓練を行いました。

開催日 2019年12月20日、2020年1月29日

参加者 佐賀県国際課、協会職員

参加機関 NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会



C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）



県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報、国際交流・協力を実践している県内の国際交流団体の紹介、各種研修会のお知らせ等を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、国際交流・協力に関する情報の提供を行いました。

全カラー4ページ 2,500部年4回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体等



地球発見隊出前講座



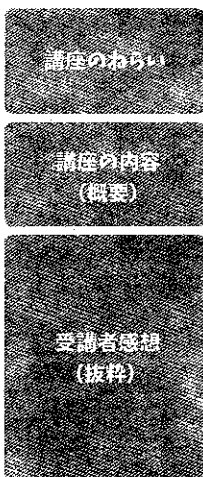
多文化共生理解出前講座（外国人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、留学生、県内外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の歴史や文化を学び交流を深め、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	50件
派遣講師数	62名（延べ）
受講者数	3,612名

武雄青陵中学校

オーストラリア 72名



3年生の「総合的な学習の時間」に「国際研究」という時間を設定し、「海外を知り、日本について、相互理解のために発信する」という目的で学習を行っている。様々な国の方々に直接出会い、思いを共有することで、生徒たちがお互いの文化や考え方をよく理解し、視野を広げることが目的として開催。

- 自己紹介
- オーストラリアの文化について(衣食住、歴史、教育、経済の違い等)
- 多文化共生について
- 日本とオーストラリアの違うところが知れてよかったです。自分のお父さんが料理をするところは想像もつきませんが、オーストラリアでは男性と女性の役割が決まっておらず、男性も家事をすることはいいなと思いました。
- 質問してみて、文化は違っても、自分と好きなものが同じだったりして、親しみを感じました。今回の講座で海外の文化について興味湧いたので家でも調べてみたいです。
- 講師の方が最後に、「いい人間関係をつくるのが大切」「広い心を持った人になりたい」「Just do itの考え方」だと今後の目標を語ってくださいました。僕も講師のことを参考にしながら目標をたててそれを成し遂げることができるよう頑張ります。



熱心に話を聞く参加者



個別に質問する生徒達

多文化共生理解出前講座（SPIRA職員）

市役所や町役場、民生委員協議会を対象に、県内外国人住民の現状、やさしい日本語など多文化共生社会づくりを目指すために必要なことをSPIRA職員を講師として実施しました。

派遣件数	7件
派遣講師数	11名（延べ）
受講者数	1,666名

小城市役所

職員62名

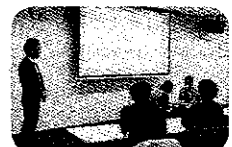


多文化共生社会の推進の観点と入管法の改正等により、外国人住民のさらなる増加が見込まれることから、市内各部署で多分野にわたる対応が必要となり、職員の意識啓発を図るため。

- 多文化共生について 講座
- やさしい日本語について 講座
- 多言語通訳コールセンターのデモンストレーション
- 将来的に多文化共生社会になっていくと考えられるため、参考になる研修であった。
- 外国の方には無理して英語を話そうと構えてしまう傾向がありますが、やさしい日本語でいいんだと気が楽になりました。
- 多言語通訳コールセンターについては、チラシで見たことがありましたが、今回のデモを通じて理解が深められました。実際に見てよかったです。



やさしい日本語講座



コールセンターデモ

国際協力理解出前講座（日本人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、県内CSOの海外経験豊富な日本人の方を講師として派遣し、それぞれの国での活動体験や日本との違い等を学び、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	1件
派遣講師数	1名（延べ）
受講者数	53名

多岐町老人クラブ長寿会

認定特定非営利活動法人 カンボジア教育支援フロム佐賀 53名

講師の経緯



講師の経緯（概要）

活動内容（延べ）

会員が日本以外の国を知り、国際理解を深めるため

カンボジア友好学園の支援をされていた体験を詳しくお話しいただきました。

- ①フロム佐賀を立ち上げた経緯
- ②カンボジアにおける中等教育の歴史から現在に至るまで
- ③友好学園に入学した子ども達の過酷な状況、真剣な学び方など

日本人それも佐賀の人々が、長年にわたり海外カンボジアの子どもたちの教育のために活動、貢献されているお話を聞いて感動しました。



聴衆の前で挨拶をする講師



熱弁する講師

ランチタイムEnglishセミナー



毎年大人気の英語セミナーです。今年は前国際交流員、アメリカ出身のハナ・ウィンターズさんから引き継いで、現国際交流員オランダ出身のマルティネス ルッテさんを講師に迎えて、多様な視点でオランダについて話していただきました。皆様ランチを食べながら、一生懸命講師の話をお聞きいただきました。

第4火曜日に実施（全6回）

延べ85名

ハナ・ウィンターズさん（アメリカ出身／前国際交流員）

【期間】 2019年4月23日～2019年6月25日

マルティネス ルッテさん（オランダ出身／現国際交流員）

【期間】 2019年8月27日～2020年2月25日



ボランティア啓発・推進



ことば多言語、医療通訳、ことば日本語、子ども支援、ホストファミリー、の5つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者のメールアドレス等を管理し、情報を提供しました。各種イベント、日本語指導や医療現場での通訳等、地域外国人住民の方々への支援に協力していただきました。

ボランティア登録者数（2020年3月31日現在）

ことば多言語	177名
・うち医療通訳	36名
ことば日本語	127名
・うち子ども支援	46名
ホストファミリー	61家庭

【登録者数 合計 延べ447名】

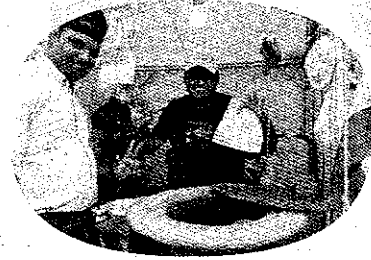
多文化共生等助成事業



県内の民間団体が行う事業の振興を図り、本県の国際化推進、多文化共生の推進に資するため、事業経費の一部を助成金として交付しました。「多文化共生事業」「国内での国際交流事業」「海外での国際交流事業」「国際協力事業」の4分野で活動した県内9の民間団体に対して、助成しました。

分野	実施主体	事業
多文化共生	佐賀県日本語学習支援 「カスターネット」	「初級日本語集中講座 in 鳥栖」 外国籍住民及び外国につながる住民が日本語を習得するための支援を行い、彼らが日本での生活をするための帮助、及び言葉の支援を通して地域のより良い共存社会の構築に寄与した。
国内での 国際交流	滝登り実行委員会	「国際溪流滝登り in ななやま」 唐津市ななやまの自然立地を生かし、地域住民と外国人住民の交流を図るために「国際溪流滝登り in ななやま」を開催した。
	佐賀地区中国学友会	「2020年佐賀地区中国春節パーティー」 中国のお正月（春節）文化を知ってもらい留学生と県民が交流できる機会を設けるために春節パーティーを開催した。
	一般財団法人 佐賀青年会議所	「台南市新營国際青年商會との国際交流」 新營JCとの深い絆を基盤に、市民団体や大学生留学生との交流をし、地域に国際交流の重要性を発信し、民間外交の活性化に寄与した。
	特定非営利活動法人 愛未来	「スリランカカレー料理教室」 県内5市でスリランカ料理講習会を開催。県内在住のスリランカ人と直接触れ合える場をもうけ、尚且団体の国際協力活動についても知ってもらう機会となった。
	小城地区日中友好協会	「第10回日中文化交流会」 地域の中国人技能実習生と地域住民と、料理を通して交流を深めた。
	佐賀地区日中友好協会	「佐賀大学中国留学生学友会との親善交流会」 中国人留学生に佐賀県の良さを知ってもらおうと、佐賀の歴史的な名所をめぐるバスツアーを開催した。
海外での 国際交流	佐賀中国交流倶楽部	「佐賀・大連文化交流会」 上海で日本語学習をしている「日中言語勉強サロン」の中国人との交流を通じて互いの文化の違いについて理解を深め、相互学習の体制を構築した。
国際協力	オイスカ佐賀県推進協議会	「第24回オイスカ佐賀ラフグリーンズの翼」 フィリピンのドンサルバドール・ベネディクト村にて村人と共に1,500本の苗を植林した。

さが国際フェスタ



今年で22回目の開催となる国際フェスタ。今年も活動の地域展開を図るべく、メインイベントを佐賀市から離れ伊万里市で開催しました。10月6日(日)のメインイベントでは、伊万里市民図書館の駐車場を貸し切り、駐車場全面に多国籍料理ブース、異文化体験ブース、民俗雑貨販売、団体活動PRブース等、伊万里で活動をする国際交流・協力団体を中心に県内から40以上の団体の参加がありました。

当日は、日本人住民、外国人住民合わせて約1,000名もの来場があり、県内の民間団体の参加に加え、技能実習生を受け入れている企業にも参加を呼びかけ約20名のインドネシア人技能実習生の参加もありました。このフェスタをきっかけに普段の生活ではなかなか触れ合う機会がなかった技能実習生と、地域住民が触れ合う機会にもなり、地域住民と外国人住民の顔の見える関係づくりにも貢献できました。

また、月間を通して県内CSO団体による国際交流・協力に関するイベントが開催され、月間中は佐賀市内のみならず、様々な地域で国際交流・協力が盛んに行われ、異文化にふれてもらう機会となりました。

県内国際交流・協力団体によるイベント(一部)

10/12
[土]

難民問題の現状と今後の支援課題
 主催 特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)
 会場 国際交流プラザ



元難民となった人々を取り巻く国際的課題に触れるとともに、「誰一人取り残さない」開発の意味についても再考する機会になりました。

10/14・28
[月・月]

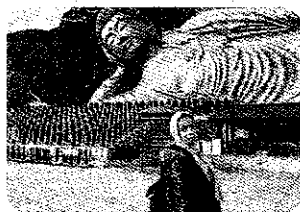
10月カフェこくさいじん
 主催 カフェこくさいじん
 会場 うれしの市民センター



災害時に言葉のわからない外国人を誘導するロールプレイングを行った他、地域のイベントに参加するため練習を行いました。

10/20
[日]

アラビア語で自分の名前を書いてみよう!
 主催 ザハラベリーダンススタジオ
 会場 国際交流プラザ



アラビックアルファベットで名前を書くことで、日本人に馴染みのない文字のしくみが分かり、同時に中東に親近感を持っていただけました。

10/20
[日]

こくさいカフェ
 主催 鳥栖市、特定非営利活動法人 RIFA
 会場 フレスポ鳥栖ウェルカムコート



外国人が自分の国の紹介をする「お国自慢しまショー」や、民族衣装体験などを通じて、交流を深めました。

多文化共生情報発信事業

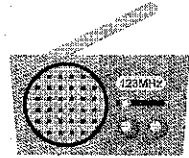
ラジオ放送（えびすFM）

多文化共生の地域づくりを促進するため、県内の外国人住民やボランティアをゲストに迎え、多文化共生に関するさまざまな情報をコミュニティFM（えびすFM）のラジオ番組により発信しました。

放送日時 毎月第3水曜日 20:00～21:00

放送回数 12回

参加者 SPIRA職員、県国際課職員、外国人住民、日本語教室ボランティア等



「心の国境をなくそう！「さが国際フェスタ写真展」

自分の周りで起こっている県内の国際化の現状を写真に収め、それらを広く知らせることで、多文化共生の意識がまだあまりない人たちにも、佐賀に外国人が増えていること、外国人と共に暮らすことを身近に感じてもらうことを目的に、広く県民から作品を募集しこの写真展を実施しました。

表彰式は11月23日に商工ビルで開催されたさがなかまつり同日、SPIRAの民族衣装ファッションショー終了後に行いました。



金賞受賞作品
撮影者：アルマンタス ヴィトカウスカスさん
(リトアニア出身)

その他の 協会事業

インターンシップの受入

インターンシップの受入れを行い、学生のキャリアビジョンのお手伝いをしています。各種研修会・イベントの準備や運営補助、翻訳作業、JICAデスク佐賀国際協力推進員や国際交流員との対談など、さまざまな業務に参加してもらい、国際交流・協力や異文化理解、多文化共生についての理解を深めてもらいました。

受入実績

学 校	実 施 期 間	参 加 人 数
神 崎 清 明 高 校	2019年7月9日～7月11日	1名
福 岡 女 子 大 学	2019年8月19日～9月2日	1名
名 桜 大 学	2019年8月26日～9月6日	1名
東 北 公 益 文 科 大 学	2019年9月9日～9月20日	1名
佐 賀 大 学	2020年3月23日～4月15日	1名



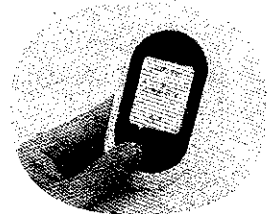
さが多文化共生センター



県からの委託を受け、外国人住民に関する総合相談窓口としてさが多文化共生センターの運営を2019年10月30日よりスタートしました。センターでは在住外国人生活支援事業の生活相談・専門家相談を引き継ぎ、実施しています。また、新たに専任の相談員を2名配置し、相談体制の機能を強化しました。英語、中国語、韓国語、ベトナム語による対面相談の体制も整備しました。

対面相談実施曜日

月	火	水	木	金
やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語
ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	
	中国語	英語	韓国語	



ポケットーク

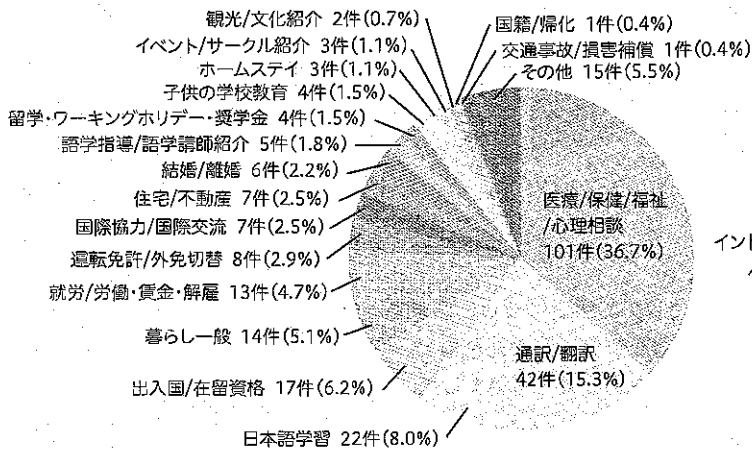
その他の言語については多言語通訳コールセンターや翻訳機（ポケットーク）を利用して対応

生活相談

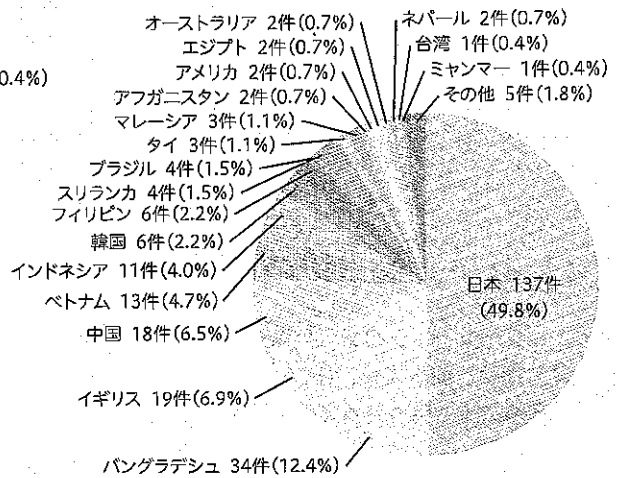
相談内容に応じて、情報提供を行うほか、当協会登録ボランティア、各市町、行政書士、民間国際交流団体等に引き継ぐなど、連携を図りながら対応しました。また、他県の地域国際化協会やCSO（市民社会組織）等民間団体と連携し、より良い解決方法について情報収集を図りました。

2019年度 相談の件数 延べ 275件

相談内容の 카테고리別内訳



相談者国籍別内訳

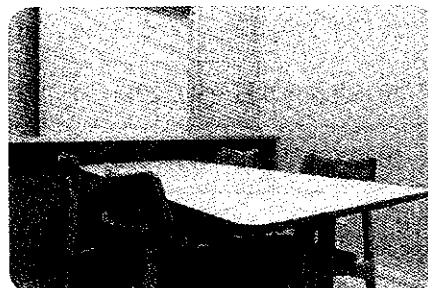


専門家相談

生活相談の中で専門家による対応が必要と判断される案件は関連機関と協力し、5件の相談を実施しました。相談者が継続して問題解決に努めることができるよう、佐賀県弁護士会やアバンセ等他機関と密接に連携をとりました。



入り口の様子



新設された相談室



賛助会員

賛助会員募集

当協会では、県民総参加の国際交流を進めるために賛助会員制度を設け、県民・団体等各方面からの参画と協力によって当協会の事業の充実を図っていくこととしています。地域の国際化・国際交流、多文化共生の進展に向けて、広く賛助会員としての参画をお願いしています。

当協会の趣旨に賛同し、協会の運営活動に協力していただける個人・団体・企業・機関等。

個人会員	年会費 1 口	3,000 円 (1 口以上)
団体会員 (団体・企業・機関等)	年会費 1 口	10,000 円 (1 口以上)

協会発行の国際交流・協力情報誌「HELLO SAGA」(年 4 回発行)
民族衣装の無料貸出



賛助会員 (個人63名、団体36団体) (2020年3月31日現在) (団体名については50音順・敬称略)

一般社団法人 佐賀県労働者福祉協議会	佐賀中国交流倶楽部
オイスカ佐賀県推進協議会	佐賀ユネスコ協会
株式会社 アドワークス	社会福祉法人 佐賀整肢学園
株式会社 首成印刷	社会福祉法人 みずものがたり
株式会社 佐賀新聞社	税理士法人 東京会計グループ
株式会社 翔和	滝登り実行委員会
株式会社 副島印刷	特定非営利活動法人 地球市民の会
株式会社 ビーボーン	中原胃腸科内科
唐津ボランティアガイド	西九州大学
公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団(アバンセ)	西九州大学短期大学部
国立大学法人 佐賀大学国際交流推進センター	にほんごすいもく 水ようび
こんにちワークSaga	にほんごすいもく 木ようび
佐賀経友会事業共協同組合	日本語ネットワーク佐賀
佐賀県商工会連合会	日本文化教育学院
佐賀県地域婦人連絡協議会	ヒーリングファミリー財団
佐賀県日中友好協会	ベトナム育英会
佐賀広告センター	松尾建設株式会社
佐賀女子短期大学	モードサプライ協同組合

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 2019年度 年報

発行 公益財団法人 佐賀県国際交流協会 発行日 2020年5月31日
〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル1階 佐賀県国際交流プラザ内
TEL : 0952-25-7921 FAX : 0952-26-2055 E-mail : info@spira.or.jp

